

元町まちづくり通信

まちづくりビジョン

地区防災計画のあるまち 元町



Vol.5 2024.2.25発行



版画 大野隆司

今年もたくさんの笑顔とともに。

元町冬のふれあい祭り

1月27日、「元町冬のふれあい祭り」が久しぶりの開催となりました。

元町まちづくり連合会では、そり滑り、飲み物の提供など、たくさんの方々に楽しんでもらえるよう、お祭りを盛り上げました。



あたたかい飲み物で
体もほかほか
あたたかくなりました。

大きな坂での
「そりすべり」は迫力満点！
みんなとても楽しそうに
遊んでくれましたよ。



将棋教室



1月9日、子どもと高齢者19人が参加し、元町会館で将棋教室を開催しました。将棋連盟指導員の鬼丸 紀さんから、将棋のルールなど教わった後、交流対局！

出前うたごえ喫茶



1月22日、介護予防センターと連合会の共催で、「出前うたごえ喫茶」を元町会館で開催。約60人がアコーディオンの伴奏で昭和の懐かしメロディを合唱。

まちの安心を支える場【子育てサロン】

元町児童会館 子育てサロン

場 所：元町児童会館

活動時間：毎週木曜日 10時30分～12時00分

元町児童会館では、毎週木曜日に「子育てサロン」を開催しています。

毎回、15～20組くらいの親子が参加し、子ども達がお気に入りのおもちゃで遊んだり、お母さん同士で楽しくお話ししたり、みんなで体操したり、参加者はとても楽しく笑顔で過ごしています。

1か月のなかで、1週目は読み聞かせ、2週目は工作会、最終週は誕生日会など、参加者が楽しめるプログラムが考えられています。誕生日会では、パネルシアターやメダルのプレゼントなど、子ども達が喜び姿が目に見えます！

今後は、季節にあわせた遊びや工作など、参加者がより楽しめる子育てサロンにしていくために職員の皆さんが頑張っています。

親子でぜひ、参加してみてくださいね。



クローズアップ！元町を支える企業

社会医療法人 博愛会 リハビリディ りすたさっぽろ元町

事業内容：地域密着型通所介護、第一号通所事業

所在地：東区北24条東17丁目1-25

開設：2011年（平成23年）

「リハビリディ りすたさっぽろ元町」は、元町地区内に立地し、高齢者が生活における楽しみを長く続けていくために、高齢者の運動をサポートしています。夏祭りや皆勤賞表彰などのイベントも、職員の皆さんは本気で盛り上げています！

半年に1度、元町地区の町内会等の方々に対し、活動状況の報告や意見交換を行い、地域の方々とのつながりを大切にしています。

また、りすたさっぽろ元町での運動で元気になった高齢者は、地域の高齢者サロンで運動を続け、ずっと元気でいてほしいという思いから、専門家として高齢者サロンの活動をサポートしています。

「地域の高齢者が元気になると、地域も元気になる」という考えで、これからも、元町地区の高齢者の健康を支えていただけることと思います。よろしくお願い致します！

介護予防事業への協力



事業所内での運動の様子



イベントは本気で盛り上げるよ！

いつも
ありがとう



【活動報告】元町の未来へつなぐプロジェクト

1月27日、「元町冬のふれあい祭り」が開催されました。
このお祭りの多くの企画は、つなぐプロジェクトのメンバーが企画し、
実施しています。3年越しの開催。全力で頑張りました！

事前準備

冬まつりワーキングのメンバーは、事前の話し合い、準備と、本当に一生懸命、最後まで、責任感をもって取り組みました！



つなぐプロジェクトのメンバーのほか、元町中学校、札幌中学校からのお手伝いもあり、30人以上の中高生がおまつりを盛り上げました！

冬のふれあいまつり

宝探し



Run & Learn (障害物競走)



そりりレー



着ぐるみ



人文字



がんばれ



これで今年度予定していたイベントは全て終了。
来年度も頑張れ！

番外編

人文字対決！



どっちが上手かな？



★トピック★まちの安全・安心のために

厳冬期の避難所体験会（2024.2.4）

～体育館の寒さを体験し、まさかに備えよう～

まずは「熱の伝わり方」
などのお勉強。



体育館の床は
思った以上に冷たい！

床の冷たさを体験し、マットや
ダンボール、防寒具など、どのくら
い防寒できるか確認しました。



元町まちづくり連合会では、開成小学校で、住民参加の『厳冬期の避難所体験会』を実施しました。

小学生から大人まで、30名が参加し、1月1日に発生した能登半島地震もふまえ、厳冬期の札幌市で災害が発生し、学校の体育館に避難した場合、どんな状況か、どんな備えが必要か、実際に体験しながら考えてみました。

室温5℃の体育館は
どんな状況に
なるのかな？



最後にみんなで体験の感想
などを話し合いました！



冷たい非常食と温かい非常食の食べ比べや、
ポリ袋を使って簡単に作れる蒸しパンなど、
非常時の食事についても体験しました。



冷え切ったなかでのあたたかい食べ物は命を救う
ことにつながります。



湯せんで作った
蒸しパン



振り返り

「床にパズルマットを重ねても寒い。工夫により保温できることや温かい食べ物を食べるのが効果的だとわかった」「マット、段ボールなど、実際に寝てみると違いがよくわかった。このような経験を下の世代につなげていくことも大事だと思った」「健康な状態でも思った以上に寒く、体験することが大事だと感じた。配慮が必要な方々のことを考えなければならないと思った」など、たくさんの気づき、課題、必要なことが挙げられ、とても有意義な実体験となりました！



【編集後記】

様々な場面でコロナによる活動自粛が終わりつつあり、4年ぶりに、やっと開催できた「元町冬のふれあい祭り」。関係者が一生懸命準備を行い、子どもも大人も楽しむ様子が見られ、とても嬉しく感じました。

今年度も終わりつつあり、来年度の予定を考える時期になってきています。引き続き、活発な活動が続き、笑顔がたくさんみられる「元町地区」となるよう、元町地区の皆様とともに、来年度も楽しく活動を続けていきたいと思えます。（永井）

おつかいさまです



問い合わせ

元町まちづくりセンター（東区北20条東20丁目6番22号）

電話：011-781-5375 FAX：011-784-3430



元町まちづくり連合会
ホームページQRコード

